

人々を魅了してきた謎解きの世界

## 本の万華鏡「探偵小説の世界へようこそ」公開

どなたでもご覧になれる、国立国会図書館のオンライン展示です。

国立国会図書館は令和6年7月31日に、ミニ電子展示「本の万華鏡」第35回「探偵小説の世界へようこそ」を公開しました。

事件とその謎の解明を中心に展開する物語は、時代や国境を越え、今も多くの人々を魅了し続けています。「推理小説」という呼称が戦後に普及するまで、日本では、そうした作品は広く「探偵小説」と呼ばれていました。

サイトでは、日本における探偵小説の歴史と、名探偵のキャラクターや犯行トリックといった魅力に焦点を当て、探偵小説の世界へご案内します。

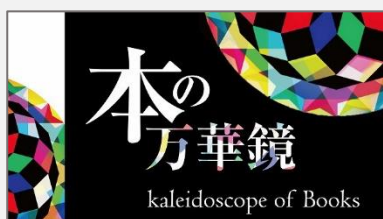


本の万華鏡 35

### 探偵小説の世界へようこそ

URL: <https://www.ndl.go.jp/kaleido/entry/35/>

スマートフォンからもご覧になれます。



#### 本の万華鏡

「推し活」「鉄道」「はやり病」「和菓子」「温泉」など、35のテーマで、国立国会図書館の蔵書を紹介しています。

URL: <https://www.ndl.go.jp/kaleido/>

■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103 (直通)

## ■ 紹介する探偵小説の一例

### シャーロック・ホームズの翻案

シャーロック・ホームズ作品を日本風に翻案したもの。『ホシナ大探偵』は、その存在は知られていたものの、長らく現物の所在が不明でした。ホームズは「保科鯨男（ほしなしゃちお）」という名前で登場します。

画像出典：押川春浪『ホシナ大探偵：陰奇探偵小説』，本郷書院，大正2  
【特 107-72】



### 最初期の創作探偵小説

須藤南翠『殺人犯』は、日本における最初期の創作探偵小説の一つ。創作探偵小説が盛んに書かれるようになるのは大正末期ですが、明治時代にも本作や黒岩涙香『無惨』など、創作探偵小説の端緒が見られました。

画像出典：須藤南翠『殺人犯：硝烟劔銃』，須藤光暉，明 21.6  
【25-24】



### 人気の少年探偵団シリーズと名探偵・明智小五郎

子どもたちに人気のあった江戸川乱歩の少年探偵団シリーズには、名探偵・明智小五郎が登場します。そのシリーズ第一作目が『怪人二十面相』です。颯爽とした名探偵と助手の小林少年は、お宝を狙う不思議な盗賊、怪人二十面相と対決します。

画像出典：江戸川乱歩『怪人二十面相』，大日本雄辯會講談社，1936.12  
【Y8-N04-H185】



### 独創的なトリックと意外な犯人

「何者」は、著者の江戸川乱歩自身が「内外に前例のない独創のトリックにはちがいないと思う」と自信を見せた作品です。

画像出典：江戸川乱歩「何者」『闇に蠢めく』（乱歩傑作選集；第6巻），平凡社，1935 【568-543】



※上記 4 作品は、国立国会図書館デジタルコレクションで全文をご覧になれます。「本の万華鏡」からリンクをたどってお楽しみください。

## ■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103（直通）